

2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ態勢の充実	目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値	—			豊後大野市キラキラこどもプランの数値目標として設定しているため			
活動指標	指標	a	情報の発信周知	b	実施機関数	c		d
	数値	目標	—	目標	11ヶ所	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
受け入れ態勢の充実		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 情報の発信周知		—	—	—
		—	—	—
b 実施機関数	ヶ所	11ヶ所	11ヶ所	11ヶ所
		100.0%	100.0%	100.0%
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
保育所間で受け入れ体制に差異がある。
対応（改善点等）
保育サービスの拡充に向け各保育所と協議をする。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

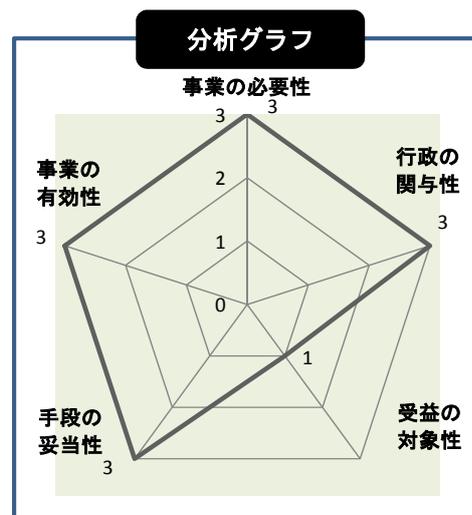
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		50,232	305,619	93,384	229,874
うち経常経費		50,226	80,746	88,844	90,534
財源内訳	国費	1,326	918		
	県費	31,561	178,557	56,159	133,350
	市債				
	その他				
	一般財源	17,345	126,144	37,225	96,524
うち経常		17,339	34,420	35,806	33,820
事業費に係る人件費		1,505	1,718	1,744	4,569
事業費に係る人役		0.35	0.40	0.40	1.03

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
H26年度実施は保育所緊急整備事業の実施で予算が膨らんだがH27年4月からの子ども子育て新制度の施行予定により、新基準へ対応する施設整備を希望する保育所が現れると予想される。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 国の制度のため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により定められているため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 保育に欠ける児童に限られているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 利用者のニーズに対応するため、情報を発信し、周知を図ることは事業の拡大を図る上で適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 事業毎に受け入れ体制に差異があるため、相対的な実施率は計れないが、事業毎には目標の達成率は高いと判断できる。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、保育ニーズの把握を行い、効率的な事業を実施すること。